

を問う

Q 介護予防サービスの取り組みは

A 「筋力トレーニング・水中運動」等で対応

●玉谷 介護保険制度が2000年4月以来の大改正となった。今回の焦点は、要介護者が急増する中、予防を重視することで要介護者を減らし、増え続ける介護給付費を抑制すること、保険料の上昇



玉谷 隆議員

を抑え介護サービスを充実することである。しかし要介護度の軽い人、施設利用者への影響は大きい。今後、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取り組みは。

■町長 今回の見直しで高齢者を要介護状態にしない、軽度の方を重度にしないよう介護予防を重視したシステムをつくる。介護予防サービスについては、「健康アップ教室」・「筋力トレーニング」・「水中運動」事業等すでに取り組んでいる。施設入所の方は、

「負担の公平性」から住居費と食費が個人負担となる。しかし低所得者の負担が過重にならないよう軽減を図ってゆきたい。

Q 土砂災害防止への考えは

A 全町危険箇所を調査し対応

●玉谷 土砂災害から住民の生命・財産を守るため現在町内で2地域が土砂災害（特別）警戒地域に指定され、1地域では自主防災組織がある。今後指定を続ける上でハード事業の整備をいかに考えるか。

■町長 町内に1027の危険箇所がある。災害から住民を守るため、地域防災計画を基本に自主防災組織を推進し、災害防止対策としてハード整備事業に取り組む。

Q 行政懇談会の開催の考えは

A 現在懇談会の時期会場を検討中

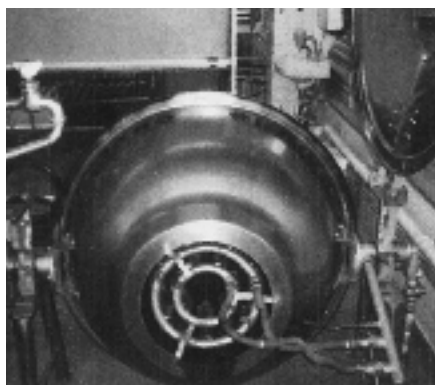


永田英則議員

機会を持ち住民と行政の信頼関係の構築と協働の町づくりに向け現在懇談会開催の時期および会場の検討を進めている。

●永田 合併して1年を迎えるが、物事を実行するには町の現状課題を住民の皆さんへ知らせる必要があると思うが。

■町長 行財政改革推進長期総合計画の施策や事業の内容を住民の皆様へ説明し住民の声を聞く



給食センターの釜に一部使用

Q 公共施設のアスベスト（石綿）対応は？

A 注意を払い対応する

●永田 公共施設の実態把握は出来ているのか対応についてはどうか。住民からの問い合わせ相談については。

■町長 調査状況は87施設中66施設にアスベスト含有又は含有の可能性がある

る。健康障害を発生させることから職員による目視調査をし注意を払い対応をしてゆく。相談は保健課環境整備課建設課を相談窓口としている。現在4件の相談があった。

Q 町花、町木制定の考えは？

A 手順にしたがい慎重に対応する

●永田 町花・町木・町民憲章、宣言等は世羅町ののぞましい将来像の実現のため早く選定されたらどうか

■町長 新町として制定することであり、制定方法として公募をし選考委員による選定手順になると思う。きわめて慎重な対応が求められるものと認識している。世羅町で最も求められるものの一つとして考えている。

町政

一般質問

Q 保育施設の再編整備は
A 保育所運営体制の実現に努力



仙光保喜議員

●仙光 幼稚園誘致の進捗状況とその保育所との関係について伺う。

■町長 解体工事の進捗状況を見ながら誘致協議をして行く。保護者の多様なニーズに応えられる反面、周辺保育

Q 世羅・甲山地区小学校統合整備は
A 適正規模・適正配置の検討委員会を設置

●仙光 世羅町内同じような教育体制で充実をした教育がなされるべきである。目的達成には、時間が必要であり条件整備に着手しては。

●町長 町内10校中半分の5校が複式学級に

所に大きな影響があり、施設の老朽化や狭隘の状況にもあり、新たな保育所の設置の必要と考え、統廃合事業計画を考えている。



Q 営農飲雑用水整備事業の進捗状況は
A 簡易水道事業認可の予定

●仙光 世羅町過疎地域自立促進計画、後期5力年中に対応する計画であるが、進捗状況と今後の対応策は。

●町長 村づくり交付金事業として8月3日に事業採択され5ヶ年の継続事業で黒瀬・徳市・黒川、上津田地区に簡易水道を布設する。今年度は、国及び県河川局で審査の上負担金を納入し水利権の付与を受け事業認可される。

Q 公民館単位という名の不平等
A 制度の点検、見直しに努める



松浦敬潤議員

●松浦 公民館はS25・26年頃「平和憲法」の実践の場として建設された。以来半世紀にわたり住民の自主的な活動の場として町民に親しまれてきた。しかし、昭和の高度経済成長で人口が都市に集中したように世羅においても、13ある公民館エリアの人口には、10倍近い差ができてしまった。

本来、公民館は住民自治の原点として誕生したが人口にして10倍も違うエリアを公民館単位と称して、均等助成、防災無線放送許可、同数の委員の選出をす

るなど「税金の公平性」「住民サービス」「意見の集約」の面で問題があると思うが。

●町長 人口の大小については合併、分割も視野に住民の意見を聞きながら是正していきたい。今後、公平感が極力損しないよう制度の点検、見直しに努める。



大世帯の大田公民館

Q 高齢者にもっと行政のひかりを
A 検討していきたい

●松浦 ゴミ収集が始まって3年が経過しようとしている。環境にやさしい町になったが、高齢者の方は非力で大型ゴミの処理に困っておられる。ますます高齢化の進む我が町も大型ゴミの収集法について住民の立場から今一度考え直す時期ではないか。

●町長 高齢化が進み、1人暮らし世帯が年々増加する中、他の自治体の例を参考に福祉の充実を図る観点から大型ゴミの収集法・形態について検討していかなければならない時期にきていると考える。

Q どうする旧世羅町庁舎に併設する消防団施設

A 第2方面隊本部は世羅町舎内に、第1分団第2部は現在地に仮設屯所



徳光義昭議員

●徳光 町民に期待される量的、質的医療の確保は重要だが、本年度世羅町分の負担は、3億2

A 組合立の運営で困難

Q 公立世羅中央病院の運営を指定管理者制度の民間委託に

百万円で、本町の負担額は95%の比率となっている。少子高齢化の人口減少時代に突入し後年度の負担は削減すべきと考える。そこで病院運営を指定管理者制度による民間委託にと考えるが、また、運営委員会の開催は。

■町長 病院運営に民間のノウハウを広く活用し住民サービスの向上と経費の節減を図ることが目的だが、三原市と世羅町の組合立であり現状では、民間委託は困難である。運営委員会については、今年度中に開催予定である。



旧世羅町庁舎消防施設

●徳光 旧世羅庁舎に併設の世羅町消防団第2方面隊本部と、第1分団第2部の屯所があるが、庁舎解体にあたり移転の予定は。また、旧甲山、世羅市街地に多く点在する屯所があるが、消防活動に、支障のない範囲で統合すべきではないかと考えるが。

■町長 第2方面隊本部は、世羅庁舎内に、第1分団第2部屯所については、今後世羅町消防団全体の再編整備をすることを勘案し、現在地に仮設屯所を建設する予定。

●福田 国の農業基本計画の見直しがされて

A 規模拡大と、産直市場により、地産地消を進める

●福田 H16年の申告所得額は、全年比95・8%となっている。とりわけ農業部門は、気象災害もあり減少幅が大きい。しかし、それのみではなく、申告方法が変わったことも一因と考える。この町税



福田 豪議員

A 所得の影響を受ける町税の見直しは様子を見て判断

への影響をどう考えるのか。

■町長 所得の課税方法が収支計算方式の申告に変わったばかりであり、気象災害の大き

かった昨年のみで農業所得の減少の要因とは考えにくい。しばらくは様子を見る必要がある。また、収支計算により自らの経営を把握できるようにすれば経営の見直しがされる中で落ち着いてくると考える。



いるが国策に乗り切れない高齢化した狭隘な中山間地域には、町の独自の施策が必要なのではないか。

■町長 当町のような条件不利地域の課題は、生産コストの削減、後継者不足・高齢化などがある。集落営農

や生産法人などの育成で、規模拡大とコスト低減をはかる。また高齢者でも取り組める産直市場により地産地消をすすめる、さらに直接支払制度を活用した農地の保全や「世羅町農業振興対策補助金」で持続的発展を図る。